

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 イザヤ 43:2-3
- *賛美 179番 良き知らせを
- *交読文 51番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 86番 たよりまつるイエスは
- 礼拝のための祈り 関野久美子 伝道師
- 賛美 221番 カナンの聖なる地に
- ワースhipダンス ゴスペル・ア・ボイス
- メッセージ 今まで通ったことのない道を進む時(ヨシュア記3章)
- 御言葉を適用する祈り.. 会衆一同
- 特別賛美 よみがえりの主 1726
- 幸せと成功の宣言文 ... 会衆一同
- 献金感謝の祈り 増田晴子 先生
- 報告
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(ご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

だが今、【主】はこう言われる。___よ、___を創造した方、___を形造った方が。
「恐れるな。わたしが___を贖ったからだ。わたしは___の名を呼んだ。___は、わたしのもの。
___が水の中を過ぎるときも、わたしは、___とともにいる。川を渡るときも、___は押し流されず、
火の中を歩いても、___は焼かれず、炎は___に燃えつかない。わたしは___の神、【主】、イス
ラエルの聖なる者、___の救い主であるからだ。わたしはエジプトを___の身代金とし、クシュと
セバを___の代わりとする。わたしの目には、___は高価で尊い。わたしは___を愛している。
だから、わたしは人を___の代わりにし、国民を___のいのちの代わりにする。
恐れるな。わたしが___とともにいるからだ。わたしは東から___の子孫を来させ、西から___を
集める。(イザヤ 43:1-5)

今年に入って以来、「今まで通ったことのない道を進んでいる」と感じている方は多いのではないでしょ
うか。新しい仕事、新しい環境、新しい人間関係。あるいは、今まで経験したことのない問題や重荷に向き
合っておられる方もいるかもしれません。人は、未知の領域へと足を踏み入れる時、恐れを感じるものです
けれども今日の御言葉は、そのような私たちに語りかけています。
「あなたがたの神、【主】の契約の箱を見、さらにレビ人の祭司たちがそれを担いでいるのを見たら、自分
のいる場所を出発して、その後を進みなさい。あなたがたが行くべき道を知るためである。あなたがたは今
まで、この道を通ったことがないからだ。」(ヨシュア記 3:3b-4a)

イスラエルの民が進もうとしていたのは、未だかつて通ったことのない道でした。しかも彼らの目の前には、
刈り入れの季節で増水したヨルダン川が流れていました。冷たい雪解け水があふれ、人間的に見ればど
も渡れるような時期でも、状況でもありません。しかもその川を超えた先は、強敵が待ち構えるカナンの地。
そのような状況で、主はご自身の事を、繰り返し自己紹介されます。「わたしは全地の主」だと。(11,13節)

この日本では、多くの人が、聖書の神はあたかもおられないかのように考え、その前提で物事が進んで
行きます。しかし主は、今日生きる私たちにも宣言されます。—「わたしは全地の主である。」「あなたが踏
み出そうとしているその領域も、あなたが恐れているその問題も、すべてわたしの支配の下にある」と。
私たちは、クリスチャンとして召されている以上、家庭の中で、職場の中で、社会的な立場を超えて、霊
的な意味で「先頭に立つ者」として置かれているでしょう。なぜなら私たちは、「王なる祭司」として召されて
いるからです(第一ペテロ 2:9)。主は私達に、祭司としてふるまうことを求めておられます。
今、私たちの目の前にある「川」は、何でしょうか。経済という川でしょうか。人間関係という川でしょうか。
愛する人の問題、健康の問題、制度の問題、将来への不安、使命の重さかもしれません。
しかし主は、「全地の主」です。どのような「川」も、すでに主の御手の中にあります。

私たち・主の祭司たちは、目の前の川や、川の向こうにいる強敵を見つめ続ける必要はありません。
見つめるべきもの、担ぐべきものは、「契約の箱」—すなわち、主の約束の御言葉です。
今の状況だけを見れば、心がしなえてしまいそうになることもあるでしょう。しかし、主の約束の御言葉を
握りしめ、その御言葉を見つめて一歩一歩進む時、主は共におられ、私たちは神の奇跡を見るのです。
契約の箱を担ぐ祭司たちの足が、川の水に浸ると、川上から流れ下る水が立ち止まりました(15-16節)。
彼らは、川の水がなくなってから渡ったのではありません、目の前にはまだ溢れんばかりの冷たい水が流
れているその川に、信仰の一步を踏み出したその瞬間に、川は止まったのです。
私達も、御言葉を信じて一歩踏み出すなら、その一歩ごとに、神の御業を見るのです。

祭司たちは、増水したヨルダン川の真ん中の乾いたところにしっかりと立ちました。そして、その後ろを進
んだ民は全員、無事に渡り切りました(17節)。 私たちも主の約束を握って、川の中へ踏み出して行く時、
その後ろにいる家族が、子どもたちが、同僚が、信仰の仲間たちが、安全に渡ることができるのです。
民は、祭司たちから二千キュビト(約 900メートル)の距離を保っていました(3:4)。それは、御言葉を追い
越して勝手に先へ進まないためであり、また契約の箱を見失わないための距離でした。

今、私たちは、当時の祭司たちのような心境かもしれません。一歩踏み出すのは恐ろしいかもしれません。
水は冷たく、流れは速いかもしれません。しかし祭司は、約束のしるしを担いで一歩踏み出すたびに、そこ
は守られていました。さらに一歩踏み出す。。。そこも安全でした。
今、渡るべきヨルダンがあるでしょう。踏み出すべき一歩があるでしょう。今日の御言葉で、主が語られた
ことは、「わたしが全地の主である」「わたしは必ず追いつく」「わたしのこぼれを担いで踏み出す一歩一歩
は必ず守られる」でした。約束の御言葉を固く握りしめ、流れの激しいヨルダンに今日も果敢に一歩一歩
踏み出して行く「王なる祭司」であるみなさまを、イエス様のお名前によって祝福します！

集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 礼拝 11:30
English Service 14:30

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:00～
水曜礼拝
1部 13:00～
2部 19:00～
金曜祈祷会 19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております
youtube.com/c/横浜天声キリスト教会



YouTube

〒231-0058

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

大通公園沿い、伊勢佐木警察署の向かいにあり、
1Fがファミリーマートになっております。



Home Page

第21卷22号 2026年5月31日

横浜天声キリスト教会



担任: 林和也牧師 川合ゆきえ牧師 増田高章牧師